

## 第6回政策推進会議報告

日時 6月20日(木) 9時30分～10時15分

場所 4-1会議室

出席者 20人

### 1 平成25年度兵庫県・尼崎市幹部連絡会議の実施概要報告について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 尼崎 21 世紀の森構想エリア内で、サッカー場などスポーツ施設の整備を検討するという話は、現場で進んでいるか。

特に進んでいない。

(副市長) 少し補足する。連絡会議の後、先日、阪神南県民局長から話があり、本市が丸島で多目的広場を整備することを兵庫県知事は了解しているが、県としては、阪神高速道路5号線の高架下を利用し、子どものためのサッカー場整備を検討していく旨の考えが示された。

(市長) それは財政的に本市が負担するということが。

(副市長) 市としては、財政的に負担できる余裕がないと言っている。「尼崎 21 世紀の森構想」のコンセプトを考えると、サッカー場整備でなくとも、地域の森づくり活動の活性化に向け、いろいろな取組があるだろうと伝えている。

(市長) 尼崎 21 世紀の森づくりは、協議会を中心に、住民主体で様々な取組を行っているエリアであるので、住民を無視して話を進めるのはいかななものか。

また、幹部連絡会議において、尼崎がものづくり都市として企業誘致を進めてはどうかという話が県からあったが、市としては環境モデル都市を意識した企業誘致が望ましいとお伝えした。

・ 阪神高速道路5号湾岸線において、尼崎東海岸 - 尼崎末広間は800mしかないにもかかわらず、対距離制への移行に伴い、ETC利用普通車の料金が200円から500円へと大きく変更となった。従来からこの話は県との間で問題になっていたが、この件に関し、県の高速道路室から何か話は無いか。

高速道路室には、昨年度から料金の値下げについて要望してきたが、料金を下げるとなると、阪神高速道路に対して負担金や補助金を出す必要が生じるかもしれないとのことだった。

(市長) 高速料金の値上げによって、普通自動車は国道43号線や五合橋線に流れ、それぞれの道路の負荷が大きくなる。市民の利便性が損なわれないよう、高速料金の値下げについて、県に粘り強く働きかけて欲しい。

## 2 その他

- ・経済環境局長から、家庭ごみの排出状況について報告。
- ・経済環境局長から、東難波庁舎西館（旧労働福祉会館）の暫定利用について説明。（以下、質疑等）
  - ・暫定利用はホールだけが対象か。  
そのとおりである。あくまでも暫定であるので、利用申込者には他施設利用の案内もしている。
  - （市長）暫定利用について1年ごとに見極めていくことにしているので、他施設への移行が円滑に進むよう各局のご協力をお願いしたい。
- ・市民協働局長から、平成25年度「じんけんスタディツアー」の実施について説明。

以 上